⑤交通円滑化 | 神奈川県 | 一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（海老名IC～相模原愛川IC） | 平成25年3月30日開通

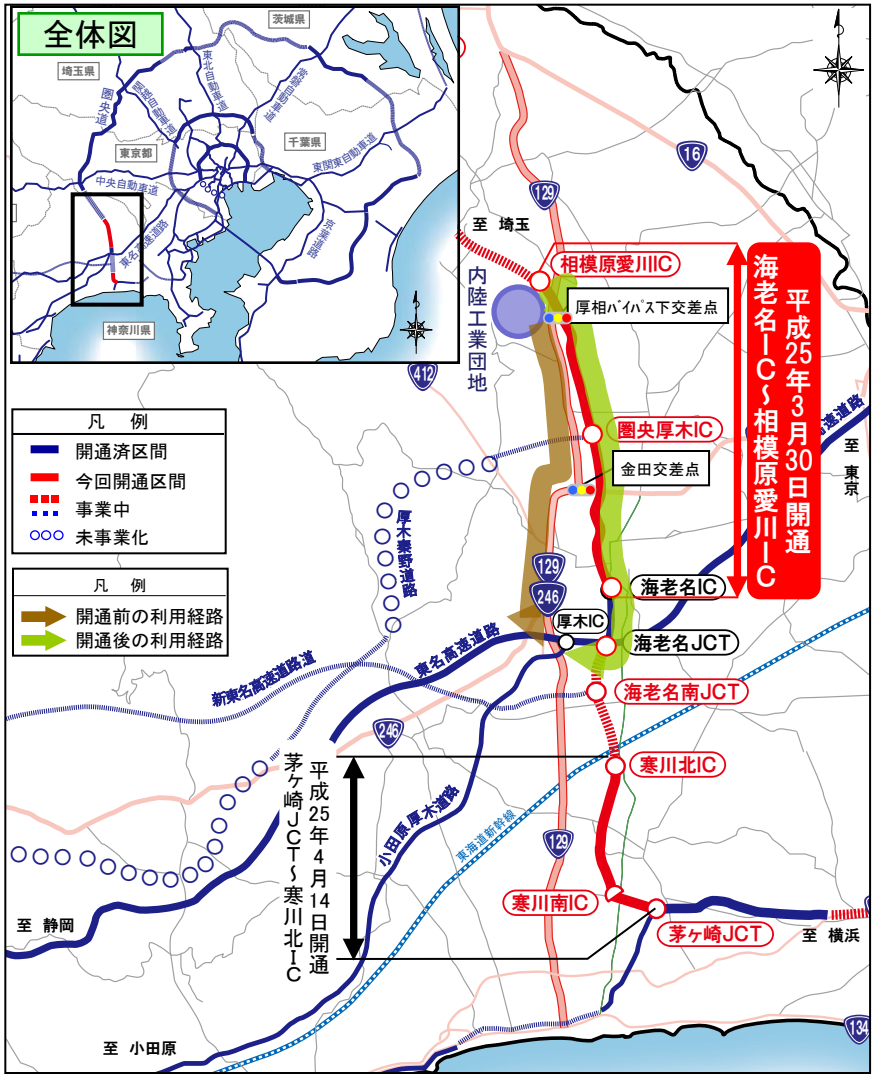
圏央道（海老名IC～相模原愛川IC）の開通により、並行する一般道の渋滞が緩和し所要時間が短縮

・圏央道の海老名IC～相模原愛川IC間(L=10.1km)が平成25年3月30日に開通。

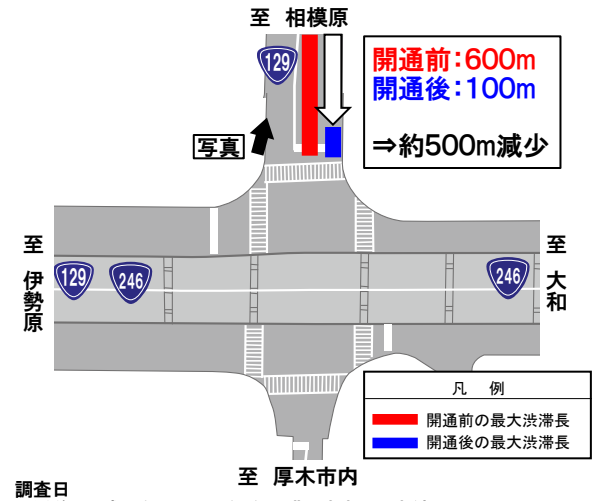
・並行する一般道にて、大型車交通量の減少により、渋滞が緩和。

・圏央道の開通により、所要時間が約20分短縮（31分⇒11分）。

・業務活動の改善や観光・レジャーの利便性向上に貢献。



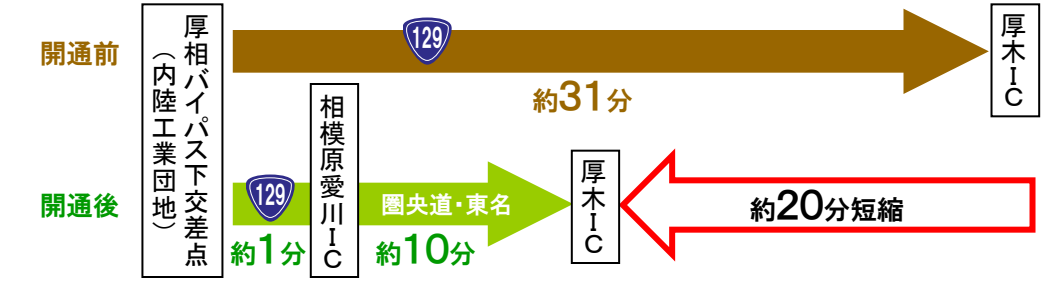
①国道129号金田交差点における渋滞緩和



■開通前後の渋滞状況の変化

調査日
開通前　平成25年2月19日（火）出典　渋滞長調査結果より
開通後　平成25年7月16日（火）※渋滞長の数値は10m単位で丸めたもの

②所要時間の短縮　内陸工業団地から厚木ICまでの所要時間が約20分短縮



出典：（開通前）国道129号；H25.2月平日8時台の民間プローブデータより。
（開通後）国道129号；H25.7月平日8時台の民間プローブデータより。圏央道については、80km/hとして移動時間を算出。

③道路利用者の声　業務活動の改善や観光・レジャーの利便性向上に貢献

物流企業の声

圏央道を利用することにより、移動時間が読めることが最大のメリット。
これにより、安定したダイヤを組むことが可能となり、朝の拠点から各店舗への配送、夕方の各店舗から拠点への配送などにおいて、約20分の短縮が図られている。
（出典：H25.7～8　企業・商工会等ヒアリング調査）

道路利用者の声

埼玉県桶川市から東伊豆方面へ年4回ほど帰省しますが、今回の開通により、大変便利になりました。
今は、未開通区間の高尾山IC～相模原愛川IC間を、一般道を利用するしかないので、早期の全線開通にとても期待しています。
（出典：H25.7　厚木PA利用者聞き取り調査）